

26 医療安全管理部



医療安全管理部では、各種マニュアルの作成と改訂、医療安全ラウンド、ワーキンググループ活動、各種モニタリング、医療事故対応、医療事故・インシデント報告の分析と改善策の実施、医療事故の機構報告、医療講演会(E-learnig)の開催、医療安全ニュースの発行などの業務を行っている。

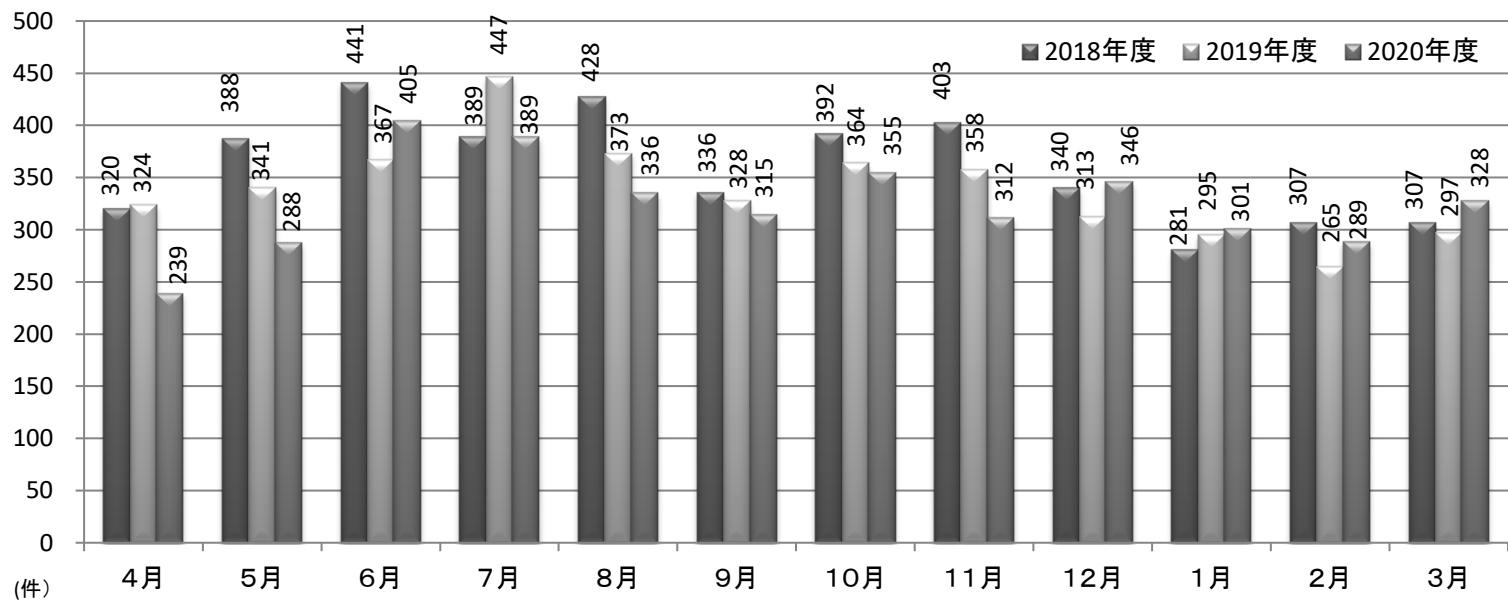
2020年度におけるインシデント報告件数3,903件、事実関係報告件数は93件であった。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で年間の延入院・外来患者数ともに減少しており、報告数が減少した要因の1つと考えられる。比率としてインシデント報告数はむしろ増加している。当院規模ではインシデント報告件数は4,000～4,500件が望ましいため、今年度も報告奨励活動を継続していく。

インシデント報告内容は①処方・与薬②ドレーン・チューブ類の使用・管理③療養上の世話が例年と同様に上位を占めている。処方・薬剤関係の内容は手順の不遵守や確認不足によるもの、ドレーン・チューブ類は自己抜去・管理に関するものが多く報告されている。昨年度は転倒・転落のインシデントが増加しており、その内4%が骨折を併発した事例となっている。今年度も転倒・転落ワーキング等の活動を通じて予防活動と呼び掛けていく。医師からのインシデント報告目標は10%以上を掲げているが、2020年度は6%(2019年度9%)へと減少している。今後も医師のインシデントレポート入力促進活動を強化する。

医療安全管理部は当院の医療の質の向上と維持、さらに安全かつ適切な医療供給体制の確立のため、各部門・診療科と密な連携を図っていく。今年度も医療安全ラウンドやモニタリングを行いフィードバックを増やすことで、医療スタッフにより近い医療安全管理活動に邁進したいと考える。全職員が重大な医療事故を起こすことなく、質の高い医療を提供できるようサポートする。

今年度は昨年延期となった病院機能評価受審が予定されており、患者さんが安全で質の高い医療を受けられる病院を目指し、安全対策の充実を図る。今後とも医療安全活動へのご理解・ご協力をお願いしたい。

26-1 年度別・月別インシデント報告件数の推移



26-2 年度別・内容分類別インシデント報告件数

(件)

区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度 構成比率(%)
処方・与薬	1,253	1,420	1,431	1,438	1,269	32.5
ドレーン・チューブ類の使用・管理	697	722	858	815	827	21.2
療養上の世話・療養生活の場面	769	802	899	794	809	20.7
検査	372	435	395	360	341	8.7
診察、手術、麻酔、出産、その他の治療、処置に関する項目	294	353	225	200	269	6.9
医療機器等の使用・管理	165	142	184	161	176	4.5
輸血	20	39	33	22	15	0.4
その他	213	318	307	282	197	5.0
合計	3,783	4,231	4,332	4,072	3,903	100.0

※2018年度より項目変更あり